

# 関経連 NOW 2025年万博誘致の実現に向け、 ラストスパート！

2025年の国際博覧会(万博)の開催地決定まで残りわずか。何としても誘致を実現するため、政府・自治体・経済界が一体となった誘致活動を展開している。2018年3月の博覧会国際事務局(BIE)調査団による開催候補地の調査ならびに6月に開催されたBIE総会での3回目のプレゼンテーションでは、日本の万博計画の魅力などをアピールした。今後、BIE加盟国は、開催候補地の調査結果や総会でのプレゼンテーションなどをふまえ検討を本格化させる。11月23日の開催地決定に向け、誘致活動はラストスパートに入る。



BIE総会でのプレゼンテーション(18年6月13日)

## BIE調査団の来日と BIE総会でのプレゼンテーション

立候補国の開催計画の実行可能性を審査するため、2018年3月5日から9日にかけて来日した博覧会国際事務局(BIE)調査団。日本はBIEに提出したビッド・ドシエ(立候補申請文書)について説明したほか、会場予定地である夢洲などの視察、政府・自治体・経済界などとの意見交換を通じて、日本の国際博覧会(万博)開催に対する熱意を伝えた。調査団は、ロシア、アゼルバイジャンでも同様に現地調査を実施し、各立候補国の

評価レポートを作成。レポートはBIE加盟国(170カ国)に共有され、開催地を検討する際の参考資料となる。

6月13日にはパリでBIE総会が開催され、松本正義 会長代行(関経連会長)をはじめ、2025日本万国博覧会誘致委員会(以下、誘致委員会)の役員および政府関係者等が出席した。各立候補国は昨年6月、11月の総会に続き、3回目となるプレゼンテーションを行った。

日本のプレゼンテーションでは、世耕弘成 経済産業大臣や山中伸弥 京都大学iPS細胞研究所所長、福本ともみ サントリーホールディングス執行役員などのスピーチのほか、安倍晋三 内閣総理大臣のビデオメッセージ

などを通じて、豊富な万博開催経験を持つ日本だからこそ開催できる「Human Lives(いのち)」に焦点を当てた万博であることを訴えた。また、2億1,800万ドルにのぼる途上国支援プログラムをはじめとする参加国へのきめ細やかなサポートを準備していること、国連が採択したSDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)の達成に向け経済界をあげて取り組みを進めていることなど、日本の万博の魅力をアピール。万博誘致キャラ特使であるポケットモンスター(ポケモン)が案内する万博会場の映像なども織り交ぜながらPRした。

このほか、総会前日の12日には、日本主催のレセプションを開催。さらに、12日、13日には経済紙「Financial Times」を活用したPRも実施。総会会場前でも同紙を配布し、BIE関係者にアピールした。

## 日本への支持獲得に向けた 経済界独自の取り組み

BIE加盟国は、前述の評価レポートや総会でのプレゼンテーション等を基に、開催地の検討を本格化させる。日本への支持獲得に向けて、今後は、加盟国本国およびパリなどに駐在するBIEの各国政府代表、さらに

は駐日大使館・総領事館への働きかけを重点的に行っていく必要がある。

経済界としてもできることはすべてやるとの覚悟を持って取り組んでいる。誘致委員会への協賛企業は280社となり(8月22日時点)、こうした企業の力を結集して取り組みを進めている。具体的には、海外での交渉に長けた企業人2名を選任、1名はパリに常駐し、もう1名は世界各地を駆け回るという体制で、経済産業省、外務省、現地日本大使館等と連携しながら各国政府に対し日本支持を働きかけている。あわせて、総合商社等の協力を得て、現地日系企業幹部(50カ国68名)が誘致委員会のエグゼクティブ・アドバイザーとして、現地日本大使館とも連携し支持要請を行っている。

## 海外イベントでのプロモーション活動

海外でのイベントを活用したプロモーションも実施している。

その一つがフランスの外交専門雑誌「La Lettre Diplomatique」がフランス革命記念日の7月14日に毎年開催する「Diplomatic Garden Party」である。このイベントには、在仏の各国大使館や国際機関、フランスおよび欧州の主要機関のほか、経済・文化・学

## 万博誘致キャラ特使が活躍

昨年11月に「2025年国際博覧会誘致キャラクター特使(万博誘致キャラ特使)」に就任したポケットモンスター(代表としてピカチュウ)とハローキティが世界的な人気を生かして誘致活動で活躍している。

6月のBIE総会の前日に日本が主催した加盟国向けのレセプションでは、ハローキティが会場に花を添え、日本支持を呼びかけ。総会のプレゼンテーションでは、映像にポケットモンスターが登場した。このほかにも、イベントへの出演、万博誘致キャラ特使を使った万博PRグッズなどを通して、誘致活動を盛り上げている。



特使就任式(17年11月28日、提供：外務省)



万博PRグッズ



術の関係者などが招待される。幅広い層への絶好のアピールの機会ととらえた日本政府と誘致委員会は今年、共同で日本ブースを設置。お好み焼きなどの屋台も設け、大阪・関西の魅力発信を含めた誘致活動を展開した。会場には競合国であるアゼルバイジャンもブースを設けており、積極的に誘致活動を行っていた。



## 国内での活動

### ○ 駐日大使に対するレセプション

国内でも駐日大使館・総領事館や訪日する海外の要人に対し、日本支持の働きかけを行っている。

6月29日、7月11日には、各国の駐日大使などに会場予定地である夢洲のポテンシャルや日本がめざす万博の構想について知ってもらうとともに、大阪に好印象を持ってもらうため、外務省と誘致委員会の主催により、夢洲および太陽の塔の視察とあわせてレセプションを開催した。参加者は駐日大使および外交団約70名(累計)。レセプションの冒頭挨拶で、松本会長をはじめとする誘致委員会役員は、誘致実現に向けた協力を呼び掛けた。



### ○ 東京における万博誘致PR

7月18日、当会は経団連、大商、関西経済同友会とともに、自由民主党本部においてPRイベントを開催。あらためて国会議員・秘書、駐日大使館関係者などに万博誘致をアピールし、さらなる機運醸成をはかった。

イベントでは、自由民主党の二階俊博2025年大阪万

博誘致推進本部長が「政府、国会議員、経済界が一体となり、誘致活動に協力をお願いしたい」と挨拶。松本会長は、「開催地決定までの残り期間、できることはすべて取り組む覚悟でしっかりと頑張っていきたい」と決意を述べた。会場では、訪れた国会議員および在京大使館、企業、経済団体の関係者ら約300人に対し、モバイル型ロボット「ロボホン」による和太鼓ダンスの披露や、海外プロモーショングッズ等の紹介を行った。



イベントとあわせて、自由民主党の動画チャンネル「CafeSta(カフェスタ)」にて、竹本直一衆議院議員と松本会長が、松川るい参議院議員の司会のもと万博誘致について対談。対談の様子は、YouTubeで配信されている。



## 誘致実現に向けて

本年11月23日に開催されるBIE総会での加盟国の投票によって2025年万博の開催地が決定する。決定まで残りわずか。ロシア、アゼルバイジャンも積極的な誘致活動を行っている。日本が開催する万博誘致イベントに両国の関係者も来場するなど、日本の動きもウォッチされており、激しい誘致競争が続いている。両国とも強敵であるため、最後まで気を引き締め、万博誘致の実現に向けて全力でラストスパートをかけなければならない。政府・自治体と一体となり、あらゆる機会を活用して、日本支持を要請し、何としても誘致を勝ち取る。  
(産業部 中西康真)

## SDGs 推進をテーマとした万博誘致活動

誘致活動を推進するなかで、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」とかかわりの深いSDGs達成に向けた取り組みも進めている。

### 国内

#### #thinkexpo2025「未来社会デザイン会議2ND」

時期：18年5月～9月

場所：Travel Hub Mix (東京都千代田区)

主催：誘致委員会

内容：2017年12月に開催した未来社会デザイン会議の第2弾。SDGsに取り組むアイデアを事業化するために、第1回に参加した23社のうち5社を中心とする各チームに他業界の企業、行政、NPOなども参加し、事業企画を作成。9月開催の「日本財団ソーシャルイノベーションフォーラム2018」での発表をめざすなど、その成果を社会に発信する。



#### #thinkexpo2025「SUCCESS-Osaka Future Design」

時期：18年5月～8月

場所：関西大学梅田キャンパス等

主催：誘致委員会、SUCCESS-Osaka\*

内容：留学生が企業の若手社員とともに自国の課題解決へのアイデアとその実現に向けた事業計画を作成し、発表する研修プログラム。万博の目的とも合致する本活動を、SNSを通じて国内外に情報発信した。あわせて、世界の課題解決に貢献できる留学生を関西企業とマッチングさせるなど、万博誘致決定後も留学生と企業が交流できるプラットフォームの形成をめざす。



\*大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、関西大学が連携し、地域社会および産学官民連携によって、関西地区の留学生就職率のさらなる向上および定着をめざす組織(文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」)

#### #thinkexpo2025「みんなの未来フェスティバル」

時期：18年8月25日～26日

場所：グランフロント大阪

主催：誘致委員会

内容：「Society5.0」や「SDGs」を通じて万博の意義や目的を体験してもらうイベント。SDGsを推進するJICAや企業などの具体的な取り組みを、ステージやブースで一般に向けてわかりやすく紹介した。

#### 「ポケモンEXPOタイプ診断」のサイトオープン (<https://pokemon-expo2025.jp>)

時期：18年6月14日～

企画：誘致委員会

内容：万博誘致をPRしながらSDGsについても学んでもらう、子どもや若者をターゲットとしたサイト。ポケモンや万博に関する質問に答えることで、回答者の性格をポケモンになぞらえて診断。あわせて回答者に関心がありそうなSDGsのゴールが表示される。英語版も作成し、海外に対しても発信している。



### 海外

#### 国連ハイレベル政治フォーラムにおける政府主催レセプション

時期：18年7月16日

場所：国連本部 (ニューヨーク)

主催：日本政府

内容：SDGsに関する日本の取り組みと万博誘致をアピールするレセプション。国連職員や各国外交官、UNIS (国連インターナショナルスクール) の生徒およびその保護者等、参加者は300名以上にのぼった。岡本三成 外務大臣政務官や吉村洋文 大阪市長などがスピーチを行い、日本の万博の魅力を印象づけるとともに、SDGs推進に向けた日本のイニシアティブを発信した。

